

《どうでもいい話、その 557》

どうでもよくない皆様へ

こんにちは！

コロナ自粛で、今までの生活様式ががらりと変わりました。所属しているグループの例会、マジックなどの演芸ボランティア活動などはすべて中止になり、また以前は最低週1～2回、街で仲間と飲み会をやっていましたが、これも今はゼロです。これが一番堪えます。でも、週に1日ずつ小学校と中学校での特別支援学級（発達障害児・生徒）ボランティア活動は継続して行っています。子供たちに接すると楽しくリフレッシュされます。この前も小学校の特別支援クラスで、2年生の女の子Mちゃんと3年生の男の子Kくんが喧嘩を始めました。間に入って「どうしたの？」と聞くとMちゃんは「Kくんがわたしのことをブスと言ったの」と言うのでKくん「そんなこと言っちゃダメだよ」と諭すとKくんは「だってMちゃんはボクのことゴキブリって言うんだもん」どっちもどっちです。また今週 中学校で、これも特別支援学級で小学校から馴染みの1年生男子生徒Y君を連れて、交流クラスで音楽の授業を受けたときのこと・・・。音楽の先生は今月転勤してきて私は初めての授業で、Y君に「今度の音楽の先生は若くてきれいだね」と言ったら「マスクを取れば大したことないよ」だって。物事の真情を捉える能力は発達しています。

岩波より